

寅さん歩 その 24

半径 30 分以内－12

旧渋沢家飛鳥山邸



平野 武宏

「寅さん歩 半径 30 分以内」は 2020 年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の中での新テーマです。八柳修之さんの「STAY HOME 半径 500m 以内」からヒントをいただき、自宅から 30 分以内で歩いて行けるマイお散歩コースです。2021 年 2 月 14 日放送開始のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公 渋沢栄一とゆかりのある各地は盛り上がっています。渋沢栄一の終焉の地 北区飛鳥山も同様です。写真右上は旧渋沢家飛鳥山邸の入口です。

最寄駅は交通機関を利用する場合の代表例です。北区は豊島区の隣に位置し、都電荒川線に乗ると大塚駅前から約 10 分で飛鳥山到着です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔旧渋沢家飛鳥山邸〕

北区西ヶ原 2-16-1

最寄駅 都電荒川線 飛鳥山停留場

「飛鳥山」は江戸時代に第 8 代将軍徳川吉宗が上野の山に代わる一般庶民の行楽地として整備した場所で、寅さん歩の博物館や桜のテーマで紹介しています。飛鳥山公園の南側一帯には日本の近代経済社会の基礎を築いた渋沢栄一の自邸が所在していました。渋沢栄一は明治 34 年から昭和 6 年に亡くなるまでの 30 年余をこの自邸で過ごしました。当時の渋沢邸は、現在の本郷通りから「飛鳥山 3 つの博物館」に向かうスロープを上った付近に出入口となる門があり、邸内には、和館と洋館からなる本邸の他、茶室や山形亭などの建物がありました。残念ながらこれらの建物は昭和 20 年の空襲で焼失してしまい、大正 6 年竣工の「晩香廬 (ばんこうろ)」と大正 14 年竣工の「青淵文庫 (せいえんぶんこ)」の 2 棟の建物が「旧渋沢庭園」内に現存しています。

「晩香廬」は渋沢栄一の喜寿の祝として、「青淵文庫」は卒寿と子爵への昇格の祝として贈呈されたものです。平成 17 年、国重要文化財（建造物）に指定されました。写真下は「晩香廬」の外観と内部です。多くの要人が訪れています。



写真下は「青淵文庫」外観と内部です。



いずれの建物も「渋沢史料館」の入場券があれば建物内の見学ができます。

【こぼれ話】 飛鳥山情報



JR王子駅方面からは「あすかパークモノレール」(無料)があります。(写真上左) 愛称「アスカルゴ」(飛鳥山とエスカルゴの造語)で動き出すと、倍賞千

恵子さんの音声案内が流れます。約 2 分で山上に到着の日本一短い登山鉄道です。写真上右は下りで前方は J R 王子駅で J R 各線が通過する絶好の撮影スポットです。

将軍徳川吉宗は故郷の紀州に似たこの王子の地を愛し、飛鳥山を整備し桜を植えて上野に代わるお花見の場を庶民に提供しました。当時上野の山は将軍の菩提寺の寛永寺があり、庶民の花見が制約されていました。

写真下左の左側が飛鳥山公園下の桜です。都電は右側奥の大塚方面から出てきて本郷通りを左折して王子駅方面に向かいます。写真下右は飛鳥山上の桜です。



寅さん歩 123 江戸・東京の祭-49 (新しい祭-10) のこぼれ話、
寅さん歩 348 東京の博物館めぐり-35 北区-1 をご覧ください。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道(道中)」と共用なので宇都宮を出発点としました。2020年12月23日栃木県宇都宮市を出立、2021年5月15日岩手県の金ヶ崎宿に到着しました。

新型コロナウイルス感染拡大で例会が中止となっています、運動不足にならないように自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

平野 寅次郎 拝